

## 資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：令和2年6月24日(14:00)



## 国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について (再劣化防止に資する鋼材補修用防食材料の適用性評価に関する共同研究)

国立研究開発法人土木研究所では、令和2年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

## 1. 土木研究所が提案する共同研究 (土研提案型：公募共同研究)

再劣化防止に資する鋼材補修用防食材料の適用性評価に関する共同研究 (詳細は別添-1)	令和2年7月(予定) ～ 令和4年3月
担当：先端材料資源研究センター (iMaRRC)	
<b>共同研究の目的</b> 既設鋼構造物の補修においては、①新設時よりも現場の作業条件(施工時の気温・湿度、飛来塩、作業空間、工期等)に関する制約が大きく施工管理が難しい、②現場条件に適した工法・材料、施工方法が選定・施工されていない場合がある、などの要因により早期に再劣化する可能性があることが問題となっている。これに対し、補修後の再劣化防止を目的とした新たな鋼材補修用材料が開発されているが、これらの現場適用性を確認するための手法が確立されていないため、適用の可否や条件を適切に判断できていない。 このため本共同研究は、今後の適用拡大が想定される鋼材補修用防食材料を対象として、様々な現場条件・施工条件を踏まえた適用性評価手法を構築することを目的とする。	
<b>共同研究の内容(項目)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鋼材補修用防食材料・工法の性能評価項目の明確化と試験方法および条件の設定</li> <li>2. 各種鋼材補修用防食材料・工法の実証試験</li> <li>3. 実証試験結果に基づく鋼材補修用防食材料・工法の適用性評価方法の検討</li> <li>4. 鋼材補修用防食材料・工法の適用条件の整理</li> </ol>	

2. 募集期間 **令和2年6月24日(水) から 令和2年7月27日(月) 17:00まで**3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ (<https://www.pwri.go.jp/>) に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先	
全般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 百武 壮 主査 田中 勝裕 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 先端材料資源研究センター (iMaRRC) 材料資源研究グループ 上席研究員 新田 弘之 主任研究員 富山 禎仁 電話 029-879-6763

# 別添－1

## 1. 共同研究の名称

再劣化防止に資する鋼材補修用防食材料の適用性評価に関する共同研究

## 2. 共同研究の概要

### < 共同研究の目的 >

既設鋼構造物の補修においては、①新設時よりも現場の作業条件（施工時の気温・湿度、飛来塩、作業空間、工期等）に関する制約が大きく施工管理が難しい、②現場条件に適した工法・材料、施工方法が選定・施工されていない場合がある、などの要因により早期に再劣化する可能性があることが問題となっている。これに対し、補修後の再劣化防止を目的とした新たな鋼材補修用材料が開発されているが、これらの現場適用性を確認するための手法が確立されていないため、適用の可否や条件を適切に判断できていない。

このため本共同研究は、今後の適用拡大が想定される鋼材補修用防食材料を対象として、様々な現場条件・施工条件を踏まえた適用性評価手法を構築することを目的とする。

### < 共同研究の内容（項目） >

1. 鋼材補修用防食材料・工法の性能評価項目の明確化と試験方法および条件の設定
2. 各種鋼材補修用防食材料・工法の実証試験
3. 実証試験結果に基づく鋼材補修用防食材料・工法の適用性評価方法の検討
4. 鋼材補修用防食材料・工法の適用条件の整理

## 3. 実施期間 令和2年7月（予定） ～ 令和4年3月

<裏面もご覧下さい>

#### 4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担

研究項目	研究細目	研究分担		年次計画	
		土研	共同研究者	令和2年度	令和3年度
①鋼材補修用防食材料・工法の性能評価項目の明確化と試験方法および条件の設定	(1)性能評価項目の明確化	◎	—	↔	
	(2)試験方法・条件の設定	◎	—	↔	
②各種鋼材補修用防食材料・工法の実証試験	(1)実証試験の実施	○	◎	↔	
	(2)試験データ分析	◎	○	↔	
③実証試験結果に基づく鋼材補修用防食材料・工法の適用性評価方法の検討	(1)適用性評価方法の検討	◎	○		↔
④鋼材補修用防食材料・工法の適用条件の整理	(1)適用条件・留意点の整理	○	◎		↔
	(2)報告書とりまとめ	◎	○		↔

#### 5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

< 参画条件 >

以下①～⑥のすべてを満たすこと、もしくは以下の①②④⑤⑥あるいは①③④⑤⑥を満たすことを公募条件とする。

- ①本研究の趣旨に賛同し、当所提案の目標の達成に取り組めること。
- ②既設鋼構造物の補修後の再劣化防止を目的とした防食材料の製造実績を有すること。
- ③既設鋼構造物の補修後の再劣化防止を目的とした防食材料の施工実績を有すること。
- ④鋼構造物の防食に関する高度な知識と経験を有すること。
- ⑤研究に必要な人材を専属で充当できること。
- ⑥研究に必要な予算措置が担保できること。

< 参加者数 >

本共同研究は、土木研究所および民間10社程度により構成する。

< 参加者の選定方法 >

- 1) 上記参画条件の①～⑥について精査・判定する。
- 2) 1)においても選定できない場合にはヒアリングを行い、円滑な研究開発を可能にする資質・可能性を吟味し決定する。

#### 6. 担当者

先端材料資源研究センター (iMaRRC)

材料資源研究グループ

新田・富山 (TEL : 029-879-6763)